

本日、名古屋引込工事センター施工工事にて、災害が発生いたしましたので、情報共有いたします。

1 発生日時 2022年6月29日(水)9時54分 復旧 10時2分)

2 発生場所 小牧営業所管内

3 概要

- ① 罹災者は、作業員6名にて2件のメッセン吊低圧引込線の新設工事に従事した。
- ② 罹災者は、既設メッセンジャーワイヤに増架するため、高所作業車のバケットを操作しメッセンジャーワイヤー付近に移動した。
- ③ 災者は、監督者の指示に基づき965柱のバンド、メッセン、引込腕金を検電し、鳴動しないことを確認した。
- ④ 罹災者は、既設メッセンジャーワイヤのハンガを仮外しようとしてハンガを動かした。その際、ハンガに収まっていた既設引込線(青線)の被覆損傷箇所からハンガ金属部分を経由して地絡に至り、発生した熱で右手人差し指と左手親指を火傷した(推定)。
- ⑤ 罹災者は地絡が発生した旨と軽いやけどをした旨を監督者に報告した。
- ⑥ 監督者は、作業の継続可否を確認した結果、継続可能との回答を受けたため、罹災者に引込柱965柱で電圧確認を指示するとともに、別の作業者に変圧器のPCヒューズの確認を指示した。
- ⑦ 断線したお客さまから監視者に、停電した旨の報告が入ったため、監視者はブレーカー断を依頼した後、罹災者は仮復旧を実施し送電を確認した。
- ⑧ 監督者は、罹災者に地上に降りるよう指示し、迎えが来るまで待機させた。
- ⑨ 別の作業員で引込線の2件の本設工事を完了させ、地絡した既設引込線のメッセン吊り部分を無停電で張替を実施した。
- ⑩ 地絡痕のあるメッセン部分の張替を実施した。
- ⑪ 当該バンクのB種接地に異常がないことを目視で確認した。

4 共有内容

怪我の程度や、災害に至った詳細な経緯については現在確認中ですが、作業前には引込線の劣化状況や、メッセン吊りハンガのかかり具合(引込線がメッセン吊りハンガに噛んでいないか)を確認いただき、被覆の損傷や劣化が確認された場合には防護もしくは停電対応にて安全に作業いただくようお願いいたします。併せて、低圧活線作業時には低圧ゴム手袋の着用を徹底いただき、感電災害防止に努めていただくようお願いいたします。

5 事務局(追記)

怪我の程度

両手熱傷

(左手親指第一関節、右手人差し指第2関節、それぞれに大豆大のみずぶくれ程度)